

図書館 選書担当者さま【水曜社 6月の新刊】

アートプロジェクト・文化政策・まちづくり



文化とまちづくり叢書

社会化するアート／アート化する社会

社会と文化芸術の共進化

小松田 儀貞 著

A5判 並製312頁 本体 3,200円 ISBN978-4-88065-528-4 C0036

2022.6.24刊行

ありがたく鑑賞させていただく、から日常空間に進出したアート。 社会が近づいたのか、アートが近づいたのか？

「芸術」「美術」から、よりカジュアルに「アート」という言葉を用い始めて久しい。アートと社会は、それぞれが他方の一部となり「アートの社会化」「社会のアート化」が進む。本書はこうした状況を「社会とアートの共進化的動態」として捉えた。そこには地域、参加、多様性などの関連、さらに地域経済、市民社会論にまでかかわる「問題群」が浮上する。

著者はこれらの群を確認し、われわれがこの現実から何を学び得ることができるかを抽出、整理し、考察した。アートの社会的実装による社会課題の解決の契機や道筋を探る、野心的試みが結実した1冊。

第1章 アートプロジェクトの生成と展開

第1節 アートプロジェクトをめぐる状況

第2節 アートプロジェクトとは何か

第2章 「地域」とアートプロジェクトの模索

第1節 「ゼロダテ」の挑戦

第2節 地域アートプロジェクトの設計と実装

第3章 地域を超えるアート、地域をつなぐアート

——地域とアートの関係再考

第1節 アートにとっての場所／場所にとってのアート

第2節 アートにとって「地域」とは何か

第4章 コミュニティと向き合うアート

——参加、協働、共創

第1節 コミュニティデザインとアートの可能性

第2節 アートにおける参加の可能性と隘路

第5章 地域社会と文化資源のゆくえ

——文化と経済の間

第1節 地域資源としての文化財

第2節 地域社会と文化資源

第6章 震災とアート——「3.11」から見えてくるもの

第1節 震災・復興・アート

第2節 「アートと社会」をめぐる問い

第7章 文化芸術の効用と社会実装

——地域で生きるアート

第1節 文化芸術と地域経済

第2節 アートの社会実装

第8章 市民社会と文化芸術

——社会とアートをめぐる課題と展望

第1節 市民社会と文化芸術をめぐる課題

第2節 社会と文化芸術の共進化



【著者】小松田儀貞（こまつだ・よしきだ）
秋田県立大学総合科学教育研究センター
准教授。1960年生まれ。知識社会学・文化
社会学・地域研究・生命/医療研究。2002年
より秋田へ。論文に「ブルデューの再帰的
社会学と「社会理論」—社会学的认识の国
際的流通の条件」（『社会学研究』74）など、
共著に『辺境芸術最前線：生き残るための
アートマネジメント』（秋田公立美術大学）、
『〈21世紀への挑戦4〉科学・技術革新・
人間』（日本経済評論社）など、共訳書にP・
ブルデュー『社会学の社会学』（藤原書店）。



水曜社 東京都新宿区新宿1-26-6
☎03-3351-8768

Fax 03-5362-7279

*見計らい注文も承ります。

お近くの書店、大学生協、販売会社、取次各社
もしくは弊社まで直接ご注文ください。

FAX不要の書店様はご返信ください FAX中止

水曜社

注文冊数

文化とまちづくり叢書

社会化するアート／アート化する社会

小松田儀貞 著

本体 3,200円

ISBN978-4-88065-528-4 C0036

書店印

御担当

様

冊